

滄水会ニュース

滄水会ニュース 第26号 発行：2016年7月 発行者：滄水会会長 服部信治
 編集委員：藤井信之 田村仁志 前川秀幸 和田浩一 吉水健剛 藤野栄一 松本和重 藤田紀勝
 宮崎真一郎 塚崎英世 二宮敬一 中谷努 山崎尚志
 〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1 職業能力開発総合大学校校内 滄水会事務局
 FAX：042-346-7879 E-mail：sousuikai@uitec.ac.jp

職業大新校長就任のご挨拶

50年にわたり日本の職業訓練の中心的な役割を担ってきた職業大に、この4月より校長として赴任いたしました。前職は東京工業大学で、“ものづくり”のマネジメントである経営工学、特に品質管理、生産管理の教育・研究に携わって参りました。

長い伝統をもつ職業大も、2005年の行政改革の一環として、相模原からの移転、大きな教育訓練課程の改変や組織変革に遭遇し、新たな学制のもとに総合課程や新指導員養成課程がスタートして4年になります。ようやく本年3月、日本で唯一の学士（生産技術）を有する総合課程の卒業生を送り出し、4月には指導員免許と修士（生産工学）とを同時に取得できる職業能力開発研究学域がスタートいたしました。

本年度、第10次職業能力開発基本計画が発表されました。不足が叫ばれている“優秀な指導員を多く輩出する”という職業大の基本的使命は変わりません。一方で“繋がる”、“代替する”、“創造する”の“IoT時代のものづくり”への転換が叫ばれ、新たな課題への対応も求められています。そのためにも新体制の制度設計を定着化させ、成果を

確実なものにして行く努力がまず求められます。そして次のステップとして、“職業能力開発学の殿堂”という社会イメージの確立と自前で教員を育てるためにも、修士に続く博士課程の設立も視野に入れる必要があります。

これらの職業大の現在と未来を支えて行く土壌は、教職員のみならず在校生、滄水会の皆様、地域貢献による地域社会を含めて、職業大の使命や伝統を共有し母校愛に根差した一体感の醸成にあります。これが職業大の存在感と認知度を高める源泉であり、その上で本来、魅力的個性的なブランドイメージを、受験生をはじめとする広く社会に訴求していく広告・パブリシティ活動を強化して行くことが喫緊の課題と考えます。

滄水会の皆様方との連携、共創の取り組みを一層強化して参りたく、よろしく申し上げます。



圓川隆夫新校長

平成27年度卒業式・滄水会賞授与式

平成28年3月23日（水）東京都小平市にある「ルネこだいら（小平市民文化会館）」で平成27年度職業能力開発総合大学校卒業式が挙行され、本会からは服部会長が出席し、祝辞を述べられました。さらに、服部会長より将来、社会において大いに貢献が期待される卒業生4名に「滄水会賞」が授与されました。受賞者のみならず、すべての卒業・修了生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。

受賞者から喜びの声

機械専攻の卒業生代表として滄水会賞を受賞し大変嬉しく思う反面、本当の意味で私よりも秀でた同期達がおり少し後ろめたさも感じました。そんなことを思いながらも学生生活を終え、東洋製罐株式会社で新社会人としての日々を送っています。東洋製罐では4月1日に品川の本社で入社式があり、そこで配属先が公表され広島工場勤務となりました。地元を離れ寮生活となり、正直不安な所もありましたが、工場の方に歓迎会を開いていただくなどとても温



後列左より 機械専攻 加藤 朗人、電気専攻 長野 祐児、電子情報専攻 芝 優志、建築専攻 石橋 星弥

かく迎えて頂き不安も和らぎました。現在は、恒例行事の新入社員による朝の挨拶や巡回実習を行っています。まだまだ、仕事らしいことはしていませんが、今できる事に尽力しています。代表として表彰された以上、これからは恥の無いように頑張りたいと思います。

（総合課程 機械専攻 加藤 朗人）

特集1 永守重信氏に職業大栄誉賞

職業大は第1期生を送り出してから50年目を記念して、社会的活躍や産業界への寄与、社会貢献、母校愛などを元に栄誉賞を創設し、最初の顕彰者として3期卒業生の永守重信日本電産会長兼社長が選ばれました。その表彰披露の会は平成28年2月18日に都内のホテルで、200名余の卒業生や教職員の出席のもと行われました。滄水会から記念品として、繁昌孝二（塗装科18期、職業大准教授）作の漆工芸美術品「装う」を贈呈しました。

寄稿

モータよりも永守さんのことを書くときっと売れますよ、というアドバイスをくれる人がいる。おそらく「訓大の第一電気科に赴任すると主任教授が、うちに東大にいても不思議でない学生がいる」と言うふうな出だしの本を期待しているのだろう。一年に数千人もでる並みの秀才扱いは陳腐だ。

不思議を感じているのだが、彼がTEACでモータ設計を始めたころ、公開になった米軍資料から、1937年にB.R.Teareがエール大学に提出した学位論文を見つけた。歴史を遡ると1881年に英国人J. Ewingが東京で発見して造語したhysteresisがモータの原理になることに気づいた一人がGEにいたC.Steimetzである。それをテープレコーダに使えるようにしたのがTeareであるが、ミサイルの姿勢制御にも使われていたのだ。彼が

応用数学に天才を示したのはウィスコンシン大学の学生のときで同級にJ. Bardeenがいた。人の出会いはときに劇的だ。Bardeenは電気工学専攻から物理に転向してトランジスタの開発と超電導理論でノーベル賞を2回獲得した。一方、Teareは物理から電気に転じて全米の工学教育改革の道を歩んだ。

永守君はNIDECを世界に広げてモータづくりを加速している。それが今回の表彰である。Teareが複雑な論理で導いたトルク式を、自分はMaxwellの方程式とGaussの定理から導いたとき、それがほとんどのモータにあてはまることに気づいた。さらに相対性理論との関係に虜になって様々なモータをどのように使うべきかを考えている。それは工学教育の倫理にも及んで意味深長である。いつかそれを書かなくてはなるまい。

(職業大 名誉教授 見城 尚志)



特集2 職業大フォーラム2016開催のご案内

職業大では、今年で4回目となる「職業大フォーラム2016」が下記のとおり開催されます。職業大フォーラムは、言わば職業能力開発研究の全国大会です。“知の創造を小平から”のキャッチフレーズのもと、その目的は、職業能力開発に関連する、さまざまな分野の講演、研究発表および議論の場を提供することにあります。

今回の一日目には、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の吉川裕美子教授に基調講演をお願いし、ドイツの職業教育訓練についてお話戴く予定です。二日目には、特別講演（講師依頼中）を予定しています。

第24回職業能力開発研究発表講演会では、職業大教職員、学生、全国の職業訓練指導員だけでなく、企業・団体の技術者、大学の研究者など、どなたでも講演申し込みできます（申込期間は職業大フォーラム事務局にお問い合わせ下さい）。

滄水会のメンバーの皆様も、是非、職業大フォーラムにご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、本年度の開催に際し、滄水会ほか、（一社）実践教育訓練研究協会のご後援を戴いています。

1. 開催日 平成28年11月11日（金）・11月12日（土）
2. 会場 職業能力開発総合大学校
〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1
3. イベント
(1) 基調講演
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
教授・博士（学術） 吉川 裕美子氏
(11月11日（金）10:15～12:15、3号館階段教室)
(2) 第24回 職業能力開発研究発表講演会
(11月11日（金）および12日（土）、3号館各教室)
(3) 特別講演 《講師依頼中》

- (11月12日（土）13:00～15:00、3号館階段教室)
4. 参加費 無料（事前の聴講申し込みは不要です）
5. 大会ホームページ
詳細は以下の大会ホームページをご覧ください。
<https://www.uitec.jeed.go.jp/kiban/research/>
6. 問い合わせ先
職業大フォーラム事務局
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
職業能力開発総合大学校 基盤整備センター企画調整課
TEL: 042-348-5075、FAX: 042-348-5098
E-mail: fukyu@uitec.ac.jp

急募!

平成29年度職業能力開発職（職業訓練指導員）募集について

3年間限定

当機構では、平成27年4月から平成29年4月の間に採用する職業訓練指導員について、職業能力開発総合大学校長期課程を卒業された皆様を対象に採用選考を実施いたします（今年で3年目。期間限定終了です！）。

長期課程を卒業され豊富な経験をお持ちの皆様だからこそ、求職者や学卒者の方へ就職に必要なものづくりに関する技能・技術指導や就職支援などを行う公共職業訓練の現場で、ご活躍できると期待しております。

これまでの経験と技能・技術を活かしていただき、私たちとともに社会貢献いたしませんか。1次試験は最寄りの職業能力開発促進センターで受験できます。皆様の積極的な応募をお待ちしております。

1. 募集職種

(必要な指導員免許)

機械 溶接 電気 電子情報 建築

(機械科、溶接科、電気科、電気工事科、電子科、コンピュータ制御科、建築科、建設科)

2. 応募資格

職業能力開発総合大学校長期課程卒で応募職種関連実務経験が
平成29年3月31日までに3年以上有する方。

※職業能力開発総合大学校は旧職業能力開発大学校及び旧職業訓練大学校を含みます。

3. 募集内容及び応募方法（応募に関しては、平成28年9月9日（金）まで随時受付します。）

募集内容の詳細及び応募方法は、当機構ホームページをご覧ください。

(<https://www.jeed.go.jp>)

【問い合わせ先】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 総務部人事課人事第五係
〒261-8558 千葉県美浜区若葉3-1-2
電話番号 043-213-6129 FAX番号 043-213-6808

滄水会活動報告

【企画部門】

企画部門では、各部門と連携して同窓生間または、職業大在校生と同窓生の交流が活発になるようなイベントを企画及び運営、事務局がそれらの交流の中心的な役割を担うような組織体制を検討しています。

・職業能力開発総合大学校栄誉賞 永守 重信氏 表彰披露の会

平成28年2月13日（土）（ヒルトン東京）

・卒業生を囲む会（予定）平成28年11月12日（土）

講演テーマ：「訓大での技能・技術教育が製品開発・特許取得・地域創成にどう役立ったか(仮)」

講演者：浪崎 安治氏（木材加工科10期卒/（地独）岩手県工業技術センター）

【名簿管理部門】

名簿管理部門では、会員情報の管理、会員情報の質向上を行っています。

・会員情報の管理及び質向上をするために、変更された会員情報の二重チェックを実施しています。

【国際部門】

国際部門では、留学生情報の整理と留学生ネットワークの構築を進めています。

・留学生（職業大在籍中も含む）のネットワーク構築および各国における留学生代表者の選定を行いました。

・留学生約260名（長期課程・研究課程卒）に対して職業大の情報および連絡調査票のメール発信を行いました。

【組織部門】

組織部門では、同窓生間の交流や情報発信がスムーズに行える組織の検討、各地で開催されている同窓会イベントの情報収集などを行っています。

- ・同窓生のイベントを含む各種情報を発信・共有する連絡網整備のために各期・各科の代表者に「連絡員」をお願いしております。現在、50%以上の整備状況となっています。
- ・連絡網を利用して職業大栄誉表彰披露の会のご案内を行いました。今後も同窓生情報の提供を行っていきます。同窓生イベントなどの情報をご存知でしたらお寄せください。

【広報部門】

広報部門では、ニュースの発行、Webページの管理及び更新、同窓生に対する広報活動を行っています。

- ・2015年度に滄水会ニュース第25号を発行しました。
- ・Webページについては随時更新しています。

【総務部門】

総務部門では、運営費の管理及び総会・滄水会賞に関する審査会等の運営、理事会及び部門調整会議の運営を行っています。

- ・平成27年度の新入生、卒業生の終身会費、ニュース・滄水会賞等運営費の管理を行いました。
- ・職業大の専攻数、および定員数の減少による終身会費の収入減に伴い、滄水会の運営費のあり方を検討し、運営費の推移を作成しました【図1】。
- ・平成27年度滄水会賞の審査会を開催し、卒業式にて滄水会賞授与式（H28.3.23）を行いました。
- ・平成27年度は、理事会を4回開催、部門調整会議を5回開催しました。

専攻数、および定員数の減少による収入減により滄水会の運営費が年々減少しております。それに伴い、ニュース発行のペーパーレス化などの対策を検討しておりますが、対応に限界がございます。つきましては、今後も滄水会の活動を維持していくためにも、大変恐縮ではございますが、会員の皆様方の寄付のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

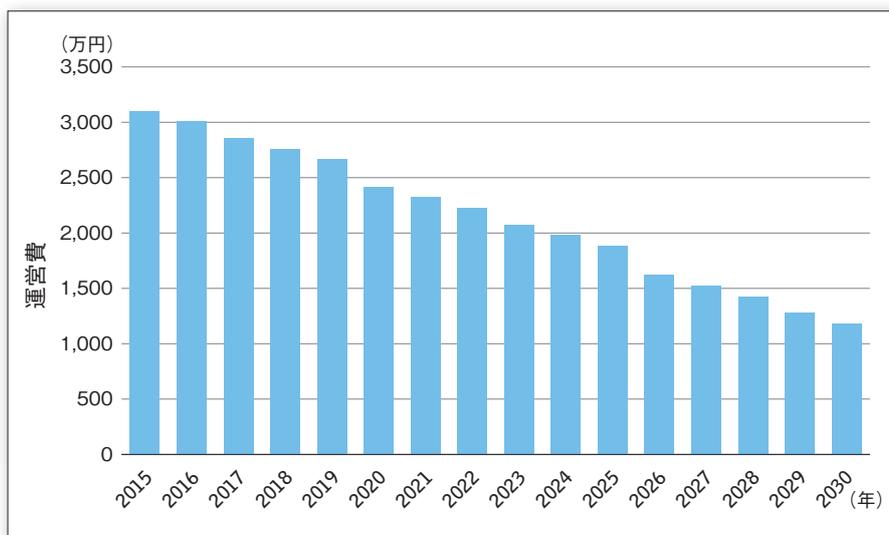


図1 滄水会運営費の推移

事務局便り

●住所変更等のお願い

会員の皆様方の住所変更等がございましたら、滄水会事務局までご連絡をお願いいたします。

住所変更方法は、同封しております会員調査票に記載の上、滄水会事務局までFAX 042-346-7879 をして頂くか、e-mail (sousuikai@uitech.ac.jp) 宛に、ご送付願います。ご不明な点などございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

●維持寄付のお願い

滄水会では、会員入会后20年ごとに滄水会維持発展のために維持寄付をお願いしております。20年目の節目に是非、滄水会

を盛り上げていただきたく、ご寄付をお願い申し上げます。

今年度維持寄付依頼対象は「1995年(平成7年、32回)卒業の会員」となっております。該当の会員には払込取扱用紙を同封いたしましたので、次の要領で払い込みくださいますようお願いいたします。

維持寄付金：一口 5,000円

(できるだけ2口でお願い申し上げます)

払い込み方法：同封の払込取扱用紙をご利用の上、最寄りの郵便局から払い込みください。